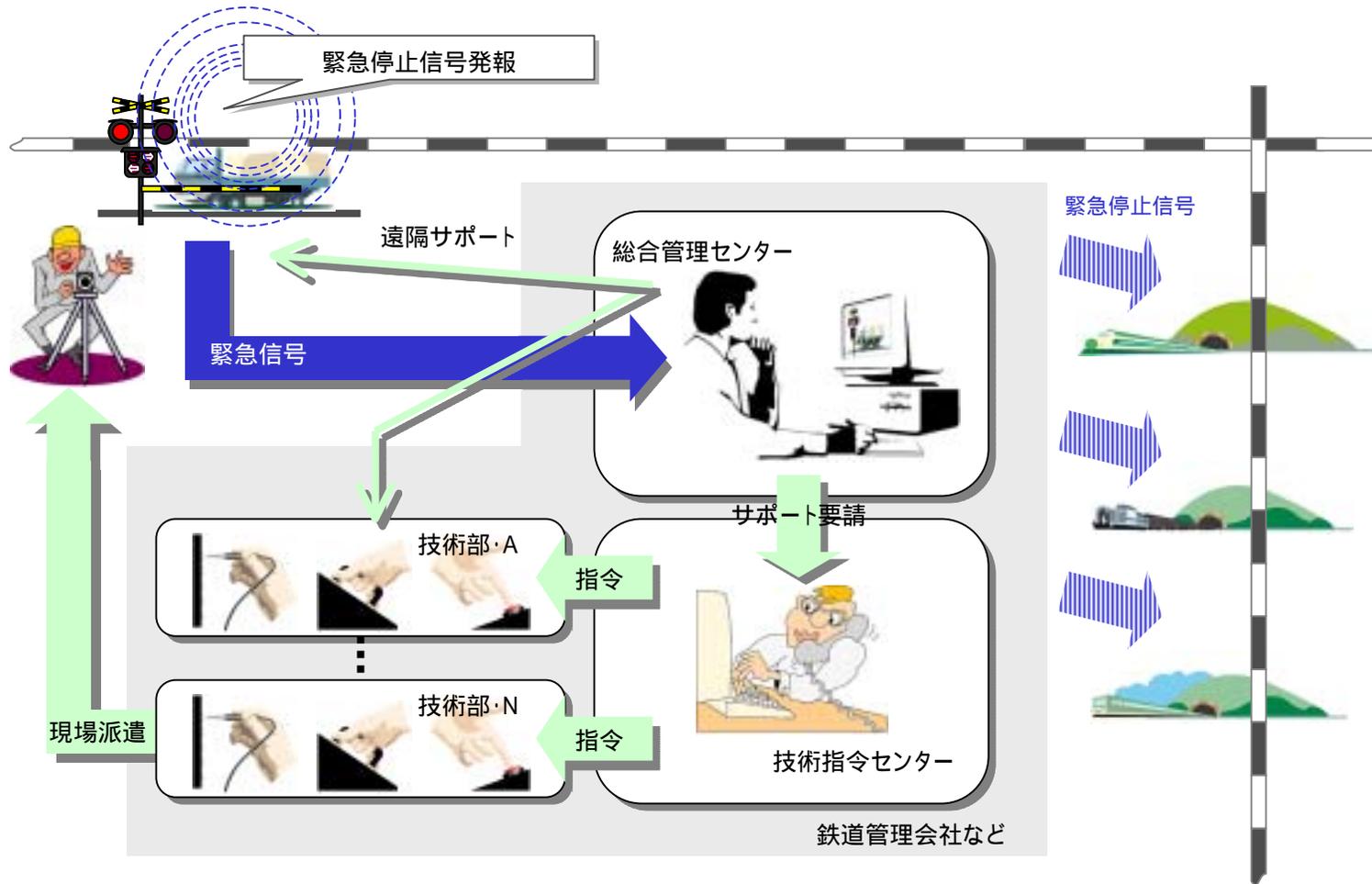


線路・踏み切り安全監視システム

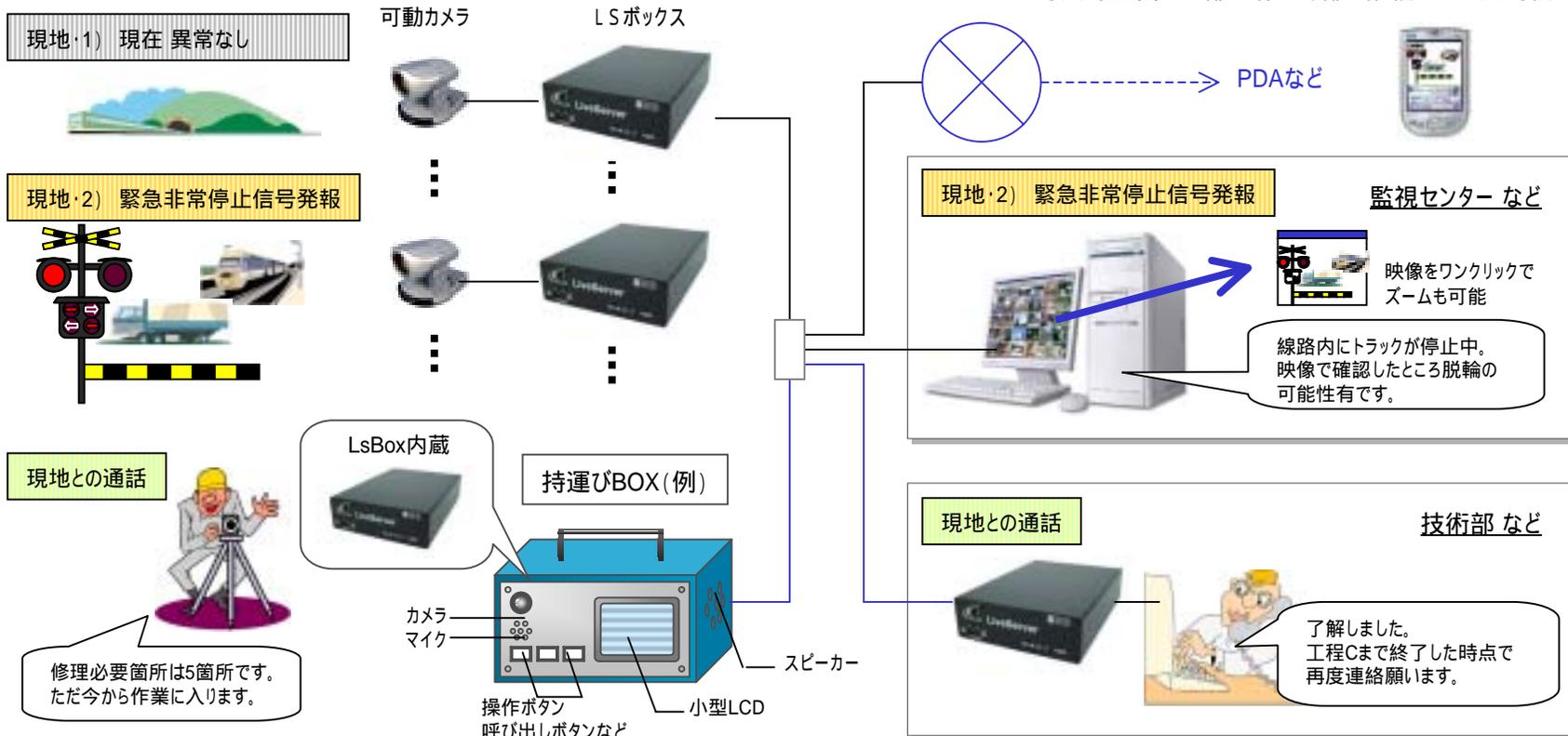
緊急通報のあった踏み切りなど、リアルタイム映像で状況を確認。



[ご注意]
ここに掲載するL Sボックスの応用事例は、既に実施中のもの、提案をしたが実現に至らなかったものなどを含めてユーザー各位がL Sボックスの応用を検討するヒントになればと掲載するものです。動作を保証するものではなく、またこれにより実施権を与えるものではありません。

- * 各現地のリアルタイム映像を、監視センターなど一拠点から一括確認することができます。現地への定期巡回と併せて、線路への障害物等の早期発見、踏切内への進入や車両事故時の現状把握など、早急な対応が必要な時にも効果的にご利用いただけます。
- * 2台の「LsBox」で通信することで映像・音声双方向で通話が可能となり、緊急対応時に効果的にご利用いただけます。実際の映像が見えるのでより正確な状況把握が可能となります。
- * センサーとの連動で異常を感知すると自動的に録画を開始し、警報を発することも可能です。
- * 独自の圧縮方式：KAMは、MPEGに比べてファイルサイズが大幅に小さく、ファイル転送時の回線負担も軽減できます。また、映像の再生には専用の表示ソフトが必要ですが、セキュリティー面を強化することに効果的にご利用いただけます。

インターネット / 専用線経由で一部映像を外部に配信することも可能



これは基本的なシステムであり、管理体制、周辺事情に合わせたカスタマイズが可能です。